

2009年3月期  
決算説明資料

2009年5月12日  
旭化成株式会社

## 1. 2009年3月期実績

主要決算数値 P4～P5

連結損益計算書 P6

金融収支・有利子負債残高 P7

特別損益 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～P14

連結貸借対照表 P15

連結キャッシュ・フロー計算書、  
設備投資額、減価償却費、研究開発費 P16

## 2. 2010年3月期業績予想

当期の業績予想 P18

セグメント別売上高・営業利益 P19～P21

緊急対策の具体的目標 P22

## 3. 参考資料

セグメント別概況 P24～P37

セグメント別設備投資額、  
減価償却費、研究開発費 P38

設備投資件名 P39

# 1. 2009年3月期実績

# 主要決算数値(1)

	08/3	09/3	
	a	実績 b	最新予想* c
売上高	16,968 億円	15,531 億円	15,570 億円
営業利益	1,277	350	340
経常利益	1,205	325	290
当期純利益	699	47	70

対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
-1,437 億円	-8.5 %	-39 億円	-0.2 %
-927	-72.6	10	2.8
-880	-73.0	35	12.1
-652	-93.2	-23	-32.2

\* 2009年4月2日発表の業績予想。

	08/3	09/3
総資産	14,254 億円	13,793 億円
自己資本	6,662	6,038
有利子負債残高	2,114	3,156
D/Eレシオ	0.32	0.52

増減
-460 億円
-624
1,042
0.20

## 主要決算数値(2)

	08/3	09/3
1株当たり当期純利益(EPS)	50.01 円	3.39 円
1株当たり年間配当金	13 円	10 円
配当性向	26.0 %	295.0 %
総資産利益率(ROA)	4.8 %	0.3 %
自己資本利益率(ROE)	10.7 %	0.7 %
1株当たり純資産(BPS)	476.39 円	431.77 円

### <連結対象範囲>

連結子会社数	106	103
持分法適用会社数	50	51

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	61,450	58,925
為替レート(相場平均:¥/US\$)	114	101

期末人員	23,854 人	24,244 人
------	----------	----------

# 連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、単位億円)

	08/3	09/3	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 16,968	100.0% 15,531	-1,437	-8.5
売上原価	76.0% 12,890	79.7% 12,378	-512	-4.0
売上総利益	24.0% 4,078	20.3% 3,153	-925	-22.7
販管費	16.5% 2,802	18.0% 2,803	2	0.1
営業利益	7.5% 1,277	2.3% 350	-927	-72.6
営業外損益 (内、金融収支) (内、持分法投資損益)	-72 (-2) (38)	-25 (-7) (8)	47 (-5) (-29)	
経常利益	7.1% 1,205	2.1% 325	-880	-73.0
特別損益	-149	-135	14	
税前利益	6.2% 1,056	1.2% 190	-866	-82.0
法人税等 少数株主損益	-350 -6	-137 -6	213 1	
当期純利益	4.1% 699	0.3% 47	-652	-93.2

## (1) 金融収支

(億円)

	08/3	09/3	増減
支払利息	-42	-43	-1
受取利息	9	10	1
受取配当金	32	26	-6
その他	-1	-1	0
合 計	-2	-7	-5

## (2) 有利子負債残高

(億円)

	08/3	09/3	増減
短期借入金	432	1,008	576
コマーシャル・ペーパー	550	550	—
長期借入金	632	1,325	693
社債	500	250	-250
リース債務	—	23	23
合 計	2,114	3,156	1,042

# 特別損益

(億円)

	08/3	09/3	増減
投資有価証券売却益	34	0	-34
固定資産売却益	3	5	2
持分変動利益	6	—	-6
特別利益	43	5	-38
投資有価証券売却損	—	1	1
投資有価証券評価損	10	7	-3
固定資産処分損	68	59	-9
減損損失	48	3	-45
環境対策費	22	19	-3
過年度引渡済物件改修費用	30	—	-30
事業構造改善費用	13	50	37
特別損失	192	140	-51
特別損益	-149	-135	14

# セグメント別売上高・営業利益(1)

(億円)

	売上高			営業利益		
	08/3	09/3	増減	08/3	09/3	増減
ケミカルズ	8,792	7,415	-1,377	652	-4	-656
ホームズ	3,862	4,099	237	214	219	5
ファーマ	1,112	1,196	84	127	120	-6
せんい	1,141	1,022	-119	72	-9	-81
エレクトロニクス	1,133	917	-215	222	33	-189
建材	557	609	52	28	17	-11
サービス・エンジニアリング等	370	273	-97	52	56	5
消去又は全社	-	-	-	-90	-83	7
合計	16,968	15,531	-1,437	1,277	350	-927

# セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高) **AsahiKASEI**

(億円)

	08/3			09/3			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカルズ	8,792	3,548	40.4	7,415	2,850	38.4	-699	-19.7
ホームズ	3,862	-	-	4,099	-	-	-	-
ファーマ	1,112	279	25.1	1,196	291	24.4	12	4.5
せんい	1,141	414	36.3	1,022	335	32.8	-79	-19.1
エレクトロニクス	1,133	505	44.6	917	407	44.3	-98	-19.4
建材	557	-	-	609	-	-	-	-
サービス・エンジニアリング等	370	128	34.5	273	57	20.9	-71	-55.3
合計	16,968	4,873	28.7	15,531	3,940	25.4	-934	-19.2
東アジア地域*への売上高		2,879	17.0		2,332	15.0	-546	-19.0

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 12,548 4,873 38.8 10,823 3,940 36.4

\* 中国、韓国、台湾

# セグメント別売上高増減要因(年間比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	08/3	09/3	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカルズ	8,792	7,415	-1,277	-72	-179	-28	-1,377
ホームズ	3,862	4,099	157	26	-	54	237
ファーマ	1,112	1,196	95	-74	-26	63	84
せんい	1,141	1,022	-103	-16	-29	0	-119
エレクトロニクス	1,133	917	-116	-95	-35	-4	-215
建材	557	609	39	13	-	0	52
サービス・エンジニアリング等	370	273	-97	0	0	0	-97
合 計	16,968	15,531	-1,303	-219	-269	85	-1,437

# セグメント別営業利益増減要因(年間比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	08/3	09/3	数量差	売値差		コスト差等	計
					うち為替因		
ケミカルズ	652	-4	-195	-72	-179	-389	-656
ホームズ	214	219	33	26	-	-54	5
ファーマ	127	120	88	-74	-26	-20	-6
せんい	72	-9	-31	-16	-29	-34	-81
エレクトロニクス	222	33	-51	-95	-35	-43	-189
建材	28	17	7	13	-	-31	-11
サービス・エンジニアリング等	52	56	4	0	0	1	5
消去又は全社	-90	-83	-	-	-	7	7
合計	1,277	350	-145	-219	-269	-563	-927

# セグメント別売上高増減要因(下期比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	07年度 下期	08年度 下期	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカルズ	4,328	2,882	-1,058	-288	-79	-100	-1,446
ホームズ	2,193	2,396	147	12	-	44	203
ファーマ	564	568	49	-45	-23	0	4
せんい	571	463	-89	-19	-16	0	-108
エレクトロニクス	556	359	-139	-57	-20	-2	-197
建材	258	296	28	10	-	0	38
サービス・エンジニアリング等	190	134	-56	0	0	0	-56
合 計	8,660	7,099	-1,117	-387	-138	-58	-1,561

# セグメント別営業利益増減要因(下期比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	07年度 下期	08年度 下期	数量差	売値差		コスト差等	計
					うち為替因		
ケミカルズ	290	-189	-172	-288	-79	-19	-479
ホームズ	165	188	37	12	-	-26	23
ファーマ	49	19	52	-45	-23	-38	-31
せんい	37	-25	-29	-19	-16	-15	-63
エレクトロニクス	108	-49	-58	-57	-20	-42	-157
建材	7	8	4	10	-	-12	2
サービス・エンジニアリング等	24	26	1	0	0	1	1
消去又は全社	-41	-30	-	-	-	12	12
合計	640	-52	-165	-387	-138	-139	-691

# 連結貸借対照表

(億円)

	08/3月末	09/3月末	増減		08/3月末	09/3月末	増減
流動資産	7,401	6,822	-579	負債	7,512	7,680	168
現金及び預金	829	980	151	流動負債	5,134	4,879	-255
受取手形及び売掛金	2,988	2,089	-899	固定負債	2,378	2,801	423
棚卸資産	2,724	2,735	12	純資産	6,742	6,114	-628
その他	860	1,018	158	株主資本	6,130	5,991	-139
固定資産	6,853	6,971	118	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,242	4,413	171	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	262	374	112	利益剰余金	4,322	4,183	-140
投資その他の資産	2,349	2,185	-164	自己株式	-20	-19	1
				評価・換算差額等	532	47	-485
				少数株主持分	79	75	-4
資産合計	14,254	13,793	-460	負債純資産合計	14,254	13,793	-460

# 連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

## (1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	08/3	09/3
営業活動によるキャッシュ・フロー①	729	688
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-691	-1,357
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	38	-669
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-223	873
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-2	-54
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-187	151
現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,017	830
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	1	—
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	830	981

## (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	08/3	09/3
設備投資額(有形)	757	1,043
設備投資額(無形)	72	224
設備投資額計	829	1,267
減価償却費	740	794
研究開発費	562	608

## 2. 2010年3月期業績予想

# 当期の業績予想

(億円)

	08/3	09/3			10/3(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	16,968	8,432	7,099	15,531	6,190	7,360	13,550	-1,981
営業利益	1,277	401	-52	350	50	360	410	60
経常利益	1,205	407	-82	325	40	350	390	65
当期純利益	699	234	-187	47	0	150	150	103

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	61,450	78,350	39,500	58,925	30,000	30,000	30,000	-28,925
為替レート(相場平均¥/\$)	114	106	95	101	95	95	95	-6

	08/3	09/3	10/3
1株当たり年間配当金	13円	10円	10円 (予定)
配当性向	26.0%	295.0%	93.2%

# セグメント別売上高

(億円)

	09/3			10/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ *	4,221	2,672	6,893	2,380	2,530	4,910	-1,983
ホームズ	1,703	2,396	4,099	1,620	2,360	3,980	-119
ファーマ	628	568	1,196	570	640	1,210	14
せんい *	641	523	1,164	560	580	1,140	-24
エレクトロニクス *	787	510	1,297	630	820	1,450	153
建材	313	296	609	300	300	600	-9
サービス・エンジニアリング等	139	134	273	130	130	260	-13
合 計	8,432	7,099	15,531	6,190	7,360	13,550	-1,981

\* 09/3期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

# セグメント別営業利益

(億円)

	09/3			10/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ*	131	-196	-65	60	90	150	215
ホームズ	30	188	219	10	170	180	-39
ファーマ	102	19	120	30	60	90	-30
せんい*	13	-28	-15	-25	5	-20	-5
エレクトロニクス*	126	-54	73	10	70	80	7
建材	8	8	17	5	10	15	-2
サービス・エンジニアリング等	31	26	56	5	5	10	-46
消去又は全社*	-40	-16	-55	-45	-50	-95	-40
合計	401	-52	350	50	360	410	60

\* 09/3期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

# 当期業績の見通し

セグメント	業績		見通し
	09/3期	10/3期予	
ケミカルズ	売上高 6,893 営業利益 -65	4,910 150	前期後半から引き続き、需要の低迷、円高等の厳しい事業環境が当面継続するとみているが、モノマー系事業、ポリマー系事業の汎用系事業は、ナフサなどの原燃料価格の下落、前期後半を底にした、ある程度の販売量回復、製品在庫評価損失額の減少を見込んでいる。また、高付加価値系事業も、原燃料価格の下落や販売数量の回復を見込み、セグメント全体では減収・増益となる見通し。
ホームズ	売上高 4,099 営業利益 219	3,980 180	分譲事業での大型マンション案件の増加や住宅周辺事業の拡大が見込めるものの、前期後半からの受注の減少による戸建住宅の引渡戸数減少の影響を強く受け、減収・減益となる見通し。
ファーマ	売上高 1,196 営業利益 120	1,210 90	医薬事業は、排尿障害改善剤「フリバス™」の販売数量の増加などが見込めるが、ライセンス収入は減少する見通しで、新薬開発の進捗に伴う研究開発費の増加を予定している。医療事業は、「APST™」や「プラノバ™」などの販売数量の増加が見込めるが、減価償却費・研究開発費の増加や為替変動の影響を受け、セグメント全体では増収・減益となる見通し。
せんい	売上高 1,164 営業利益 -15	1,140 -20	原燃料価格の下落に加え、不織布事業の人工皮革「ラムース™」のカーインテリア分野向けを中心に販売数量の増加が見込めるが、ナイロン66繊維「レオナ™」などの販売の回復が遅れると予想され、微減収・微減益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,297 営業利益 73	1,450 80	電子材料系事業は、当期後半からの市場の回復による販売量増加が見込めるが、製品販売価格の下落、「ハイポア™」、ペリクルの増設による償却増などの影響を受ける見通し。電子部品系事業は、東光(株)から買収した半導体事業が売上に寄与することや、コストダウン効果が見込めることにより、セグメント全体では増収・微増益の見通し。
建材	売上高 609 営業利益 17	600 15	建築需要の落ち込みによる販売数量の減少が予想されるが、製品価格の維持や生産体制の最適化などによる固定費の削減により、売上高・営業利益ともにほぼ前年並となる見通し。

\* 09/3期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

09年の業績目標を達成すべく、以下の対策を実施する。

## ✓汎用事業の見直し

事業ポートフォリオ転換の加速(課題事業の構造改善を含む)

＜既に意思決定した件名＞

- ①ポリエステル長繊維の生産停止
  - ②モノフィラメント事業からの撤退
  - ③特薬事業(コエンザイムQ10)からの撤退
  - ④軽量気泡コンクリート・白老工場の閉鎖
- 他案件、検討中

✓固定費の削減 ▲約135億円(減価償却費の増 36億円を含む)

## ✓設備投資の削減

- 08年度実績 1,267億円→09年度予定 900億円

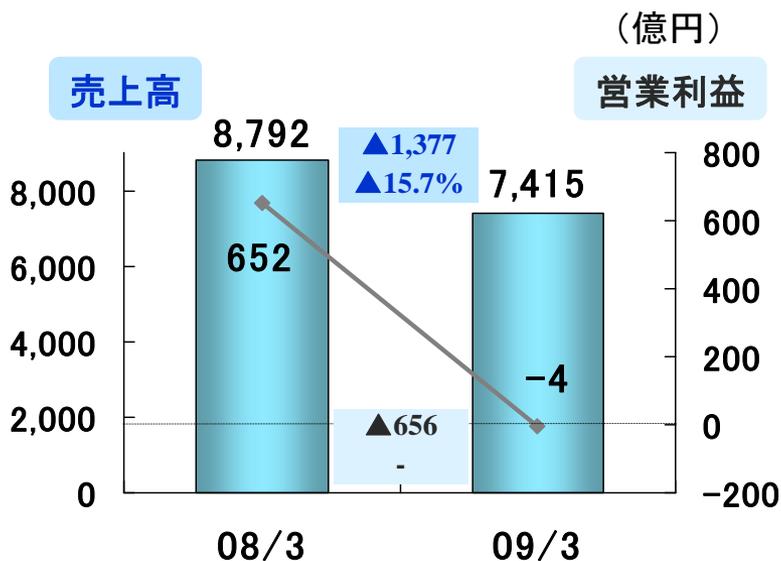
(汎用系事業の拡大投資はペンディング。高成長追求事業の投資は、事業の状況を考慮しながら慎重に進めていく。)

## ✓在庫(棚卸資産)の圧縮

- 08年12月末      09年3月末      09年9月末目標      10年3月末目標  
3,249億円    → 2,735億円    → 2,500億円    → 2,400億円

✓役員報酬の減額 ▲10%~20%

## 3. 参考資料



## <概況>

汎用系事業、高付加価値系事業ともに、前期比減収、減益となった。

### ・汎用系事業

モノマー系事業、ポリマー系事業ともに、上期に原燃料価格高騰の影響を強く受けたことや、下期以降の国内外における市場環境の悪化による販売数量の急激な減少や為替変動の影響を受けたことに加え、在庫評価損の影響などから、前期比減収、減益となった。

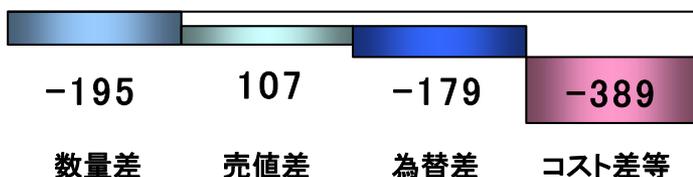
### ・高付加価値系事業

上期は堅調に推移したものの、市場環境の急激な悪化により、リチウムイオン2次電池用微多孔膜「ハイポア™」やイオン交換膜などの販売数量が減少したことなどから、前期比減収、減益となった。

#### 売上高増減分析



#### 営業利益増減分析



## 高付加価値系事業の業績

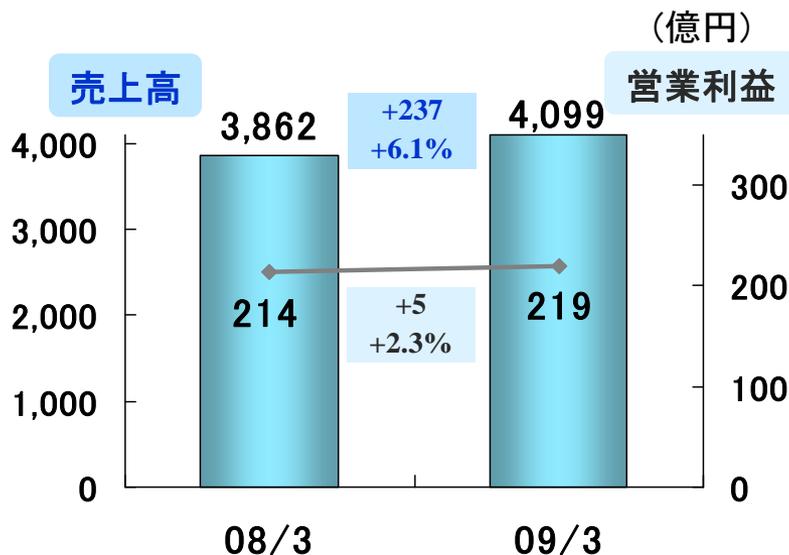
(億円)

	08/3		09/3	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ケミカルズ計	8,792	652	7,415	-4
内、高付加価値系事業	1,973	279	1,886	188

※上記高付加価値系事業の業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

## <トピックス>

- ・木質バイオマス発電への取り組み開始。(6月)
- ・リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」の生産設備増強を発表。(11月)
- ・廃水リサイクルサービス事業の本格展開開始、中国蘇州で第一号案件が稼動開始。(3月)
- ・チッソ(株)、三菱化学(株)と肥料事業統合を基本合意。(3月)



## 事業別差異分析

	08/3(a)		09/3(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	2,971	/	3,073	/	102	/
分譲	245		299		54	
他	10		15		6	
小計	3,225	160	3,387	154	162	-6
住宅周辺	637	54	712	65	75	11
合計	3,862	214	4,099	219	237	5

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

## <概況>

建築請負・分譲事業が減益になったものの、リフォームなどの住宅周辺事業が順調に推移し、前期比増収、増益となった。

### ・建築請負・分譲事業

- ・一昨年10月に発覚した建築部材の性能偽装問題の影響で減少した戸建住宅の引渡戸数が回復したことや、大型分譲マンションの引渡しがあったものの、原材料価格高騰や販売用不動産の評価下げの影響を受け、前期比増収、減益となった。
- ・建築請負事業の受注は、上期までは堅調に推移したが、下期に金融危機以降の急激な市場環境悪化の影響を受け、前期比4.9%の減となった。

### ・住宅周辺事業(リフォーム、不動産など)

不動産事業が苦戦したもののリフォーム事業や金融事業が順調に推移したことから、前期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・営業本部の支店制を導入。(4月)
- ・都市で働く单身女性向けに防犯性能を向上させた「ヘーベルメゾン サフォレ™」を発売。(8月)
- ・高耐久型断熱・気密構造を新開発し、長期耐用住宅の進化を実現した、次世代ロングライフ住宅「ファインヘーベルハウス™」を発売。(9月)
- ・最先端の環境設備機器を組合わせた「発電ヘーベルハウス™」キャンペーンの実施(1月)

## 1. 売上高、受注高の状況

(単位: 億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
04	上期	1,531 (▲5.2%)	1,389 (14.6%)	66 (25.3%)	5	1,460 (15.0%)	213 (1.9%)	1,673 (13.2%)	3,332
	下期	1,487 (▲5.1%)	1,719 (7.5%)	136 (▲55.9%)	6	1,860 (▲2.8%)	225 (0.9%)	2,085 (▲2.3%)	3,101
	通期	3,018 (▲5.1%)	3,107 (10.6%)	201 (▲44.1%)	11	3,320 (4.3%)	438 (1.6%)	3,758 (4.0%)	
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	242 (13.6%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	262 (16.4%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09予	通期	3,090 (6.2%)	2,860 (▲6.9%)	355 (18.6%)	15	3,230 (▲4.6%)	750 (5.3%)	3,980 (▲2.9%)	3,056

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 2. 2009年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	1,961	2.2%	6,990	1.8%	1,881	-3.3%	6,321	-8.2%
	中層	727	4.2%	2,424	-2.9%	636	-12.2%	2,361	-9.6%
建	小計	2,689	2.7%	9,414	0.5%	2,517	-5.7%	8,682	-8.6%
集	低層	145	8.2%	1,450	6.1%	140	3.4%	1,272	-2.7%
	中層	239	9.0%	2,402	7.9%	254	-0.6%	2,504	1.2%
系	小計	384	8.7%	3,852	7.2%	394	0.8%	3,776	-0.2%
合計		3,073	3.4%	13,266	2.4%	2,911	-4.9%	12,458	-6.2%
分譲事業等		299	22.2%	751	19.0%	-	-	-	-
他*		15	59.6%	-	-	-	-	-	-
合計		3,387	5.0%	14,017	3.1%	2,911	-4.9%	12,458	-6.2%
関係会社等		712	11.8%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,099	6.1%	14,017	3.1%	2,911	-4.9%	12,458	-6.2%

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 3. 2010年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数予想(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	1,811	-7.7%	6,230	-10.9%	1,995	6.0%	6,500	2.8%
	中層	674	-7.3%	2,130	-12.1%	670	5.3%	2,350	-0.5%
建	小計	2,485	-7.6%	8,360	-11.2%	2,665	5.9%	8,850	1.9%
集	低層	143	-1.6%	1,350	-6.9%	155	11.0%	1,375	8.1%
	中層	232	-2.8%	2,250	-6.3%	270	6.3%	2,675	6.8%
系	小計	375	-2.4%	3,600	-6.5%	425	8.0%	4,050	7.3%
合計		2,860	-6.9%	11,960	-9.8%	3,090	6.2%	12,900	3.5%
分譲事業等		355	18.6%	880	17.2%	-	-	-	-
他*		15	-2.3%	-	-	-	-	-	-
合計		3,230	-2.9%	12,840	-8.4%	3,090	6.2%	12,900	3.5%
関係会社等		750	5.3%	-	-	-	-	-	-
総合計		3,980	-4.6%	12,840	-8.4%	3,090	6.2%	12,900	3.5%

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 4. 関係会社損益

(億円)

	08/3		09/3	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	284	27	327	36
旭化成不動産	330	17	358	15

### <概況>

#### 旭化成リフォーム

(09年3月期実績)

大幅な人員増強を行い積極的に営業を展開した結果、防水・外壁塗装工事が順調に増加したこと、原価管理の強化により利益率が向上したことにより、前期比増収、増益となった。

(10年3月期予想)

引き続き防水・外壁塗装工事の受注を伸ばし、設備更新工事受注の強化を図るが、人員増による固定費負担増などにより、増収、微減益となる見通し。

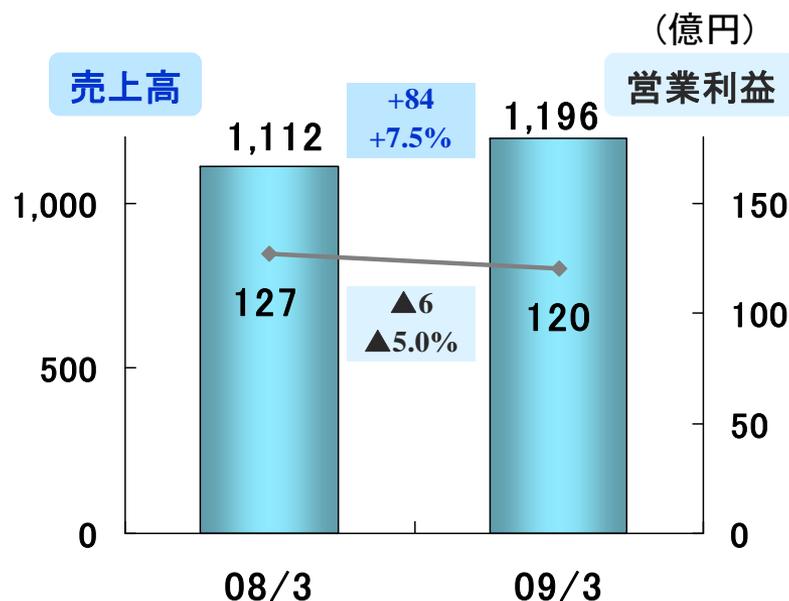
#### 旭化成不動産

(09年3月期実績)

賃貸部門は底堅く推移したものの、土地などの仲介部門の手数料収入の減少や、自社保有物件の売却損や評価下げの影響を受け、前期比増収、減益となった。

(10年3月期予想)

売却損や評価下げの影響が減少することや家賃保証戸数の増加により、増収、増益を目指す。



## <概況>

### ・医薬事業

薬価引き下げや研究開発費の増加などの影響を受けたものの、抗ヘルペスウイルス剤「ファムビル®」のライセンス収入や抗血液凝固剤「リコモジュリン™」の新発売、排尿障害改善剤「フリバス™」の伸長などにより、前期比増収、増益となった。

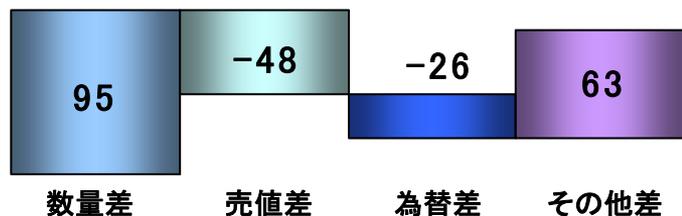
### ・医療事業

ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」やウイルス除去フィルター「プラノバ™」などが輸出を中心に販売数量を伸ばしたものの、減価償却費の増や為替変動の影響を受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

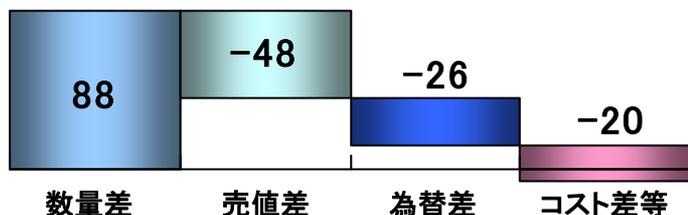
## <トピックス>

- ・抗ヘルペスウイルス剤「ファムビル®」の国内製造販売承認取得、マルホ(株)との販売提携(4月)。薬価収載(6月)。発売(7月)。
- ・抗血液凝固剤「トロンボモジュリン製剤」(販売名:リコモジュリン®点滴静注用12800)の薬価収載(4月)。発売(5月)。
- ・EVOH樹脂製中空糸膜紡糸工場の竣工。(5月、6月生産開始)
- ・ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」の中空糸紡糸設備増設を決定。(6月)
- ・ドライタイプのポリスルホン膜人工腎臓「APS™」紡糸・組立一貫工場竣工。(11月)
- ・排尿障害改善剤ナフトピジル(当社製品名「フリバス™」)の知的財産権等全権利をロシュ社より取得。(11月発表)
- ・抗うつ剤「トレドミン™」の12.5mg錠、50mg錠を発売。(11月)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の組立工場を大分に新設を決定。(1月、4月着工、10年3月竣工予定)
- ・バイオプロセス用装置事業を行っている米テクニクロム社買収を決定。(2月)
- ・日本赤十字社が、献血の血液検査時に初めて導入する糖尿病管理指標グリコアルブミンの測定用液状試薬に「ルシカ™GA-L」を採用。(3月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



## 1. ファーマセグメントの売上

(億円)

	08/3			09/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬	241	243	484	304	259	563
その他	29	26	55	24	22	47
(単 独 計)	270	269	539	328	282	610
医療*	247	264	511	270	260	530
その他	31	31	62	30	26	56
(連 結 計)	548	564	1,112	628	568	1,196

\* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカルの2社合計

### <主要医薬品の国内売上>

(億円)

	08/3			09/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
エルシトニン™	71	68	139	68	64	132
ブレディニン™	31	30	62	31	31	62
フリバス™	47	47	94	45	53	98
トレドミン™	31	32	63	29	21	50
エクサシン™	5	5	10	4	4	8
ゼスラン™	5	7	12	5	7	12
エ リ ル™	7	7	15	7	7	14

## 2. 製品説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	—
トレドミン™	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エクサシン™	硫酸イセパマイシン	アミノグリコシド系抗生物質	感染症	注射剤	シェリングプラウ
ゼスラン™	メキタジン	アレルギー性疾患治療剤	気管支喘息・アレルギー性鼻炎他	錠剤・シロップ・小児用細粒	アルフレッサファーマ
エリル™	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—

# ファーマ(4)

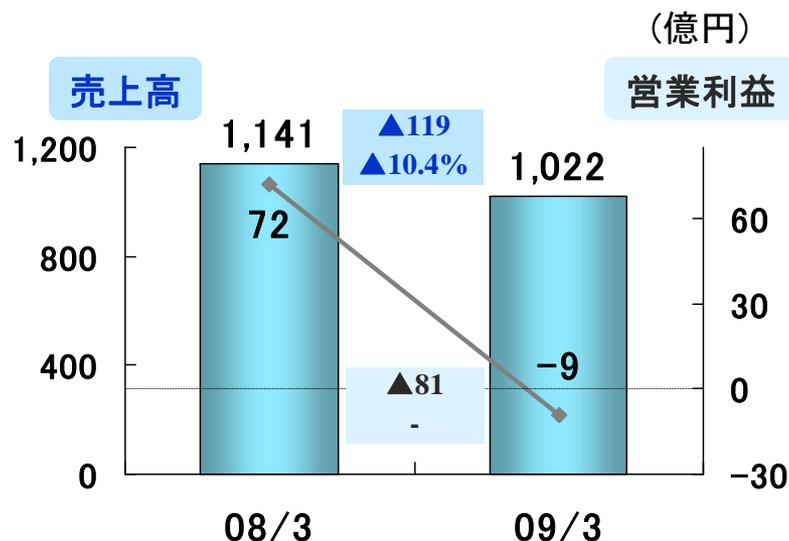
## 08年度発売の医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
リコモジュリン® 点滴静注用 12800 (08年5月発売)	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	抗血液凝固剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症候群)	注射剤	—
ファムビル®錠 250mg (08年7月発売)	ファムシクロビル	抗ウイルス剤	帯状疱疹	錠剤	(提携) ノバルティス ファーマ

## 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	急性期脳血栓症
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
フェーズⅢ準備中	①AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウイルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	剤形追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK-150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

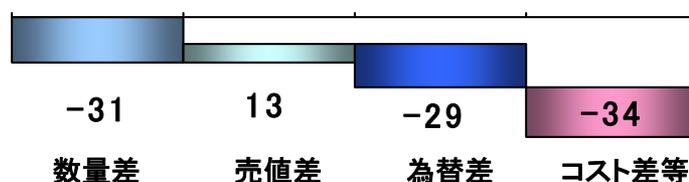
探索・基礎研究 世界に通用する新薬の創製を目指し、創薬基盤技術を拡充・整備しつつ、整形領域疾患にフォーカスを当てた新規物質の探索研究を鋭意行っている。



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析

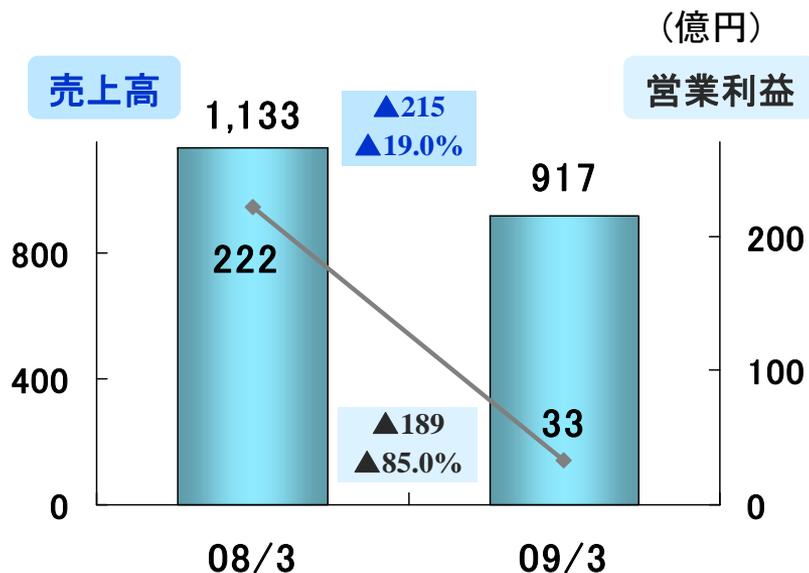


## <概況>

- ・ポリウレタン弾性繊維事業は、海外の市場環境悪化による販売価格の下落と販売数量の減少や為替変動の影響を強く受けたことから、前期比減収、減益となった。
- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ™」は海外向け販売量が堅調に推移したものの、原燃料価格の高騰や為替変動の影響により、前期比減収、減益となった。
- ・不織布事業は、原燃料価格の高騰に加え市場環境の悪化による販売数量の減少の影響を受け、前期比減収、減益となった。

## <トピックス>

- ・「せんい先端技術センター」を開所。(9月)
- ・旭化成・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞の授与式及びファッションショー開催。(11月)
- ・ポリエステル長繊維の生産停止、モノフィラメント事業からの撤退を発表。(3月、9月末に生産停止・撤退)



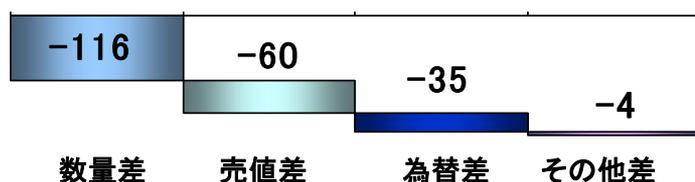
## <概況>

・電子材料系事業、電子部品系事業ともに、携帯電話やノートPCなどのIT機器やデジタル家電の市場環境が急速に悪化し、各製品の販売数量が急激に減少したことに加え、為替変動の影響を強く受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

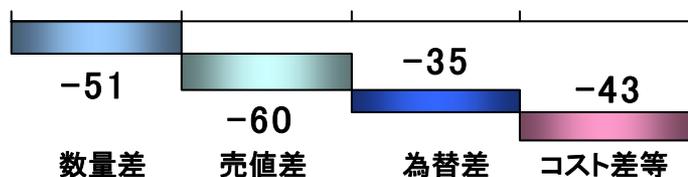
## <トピックス>

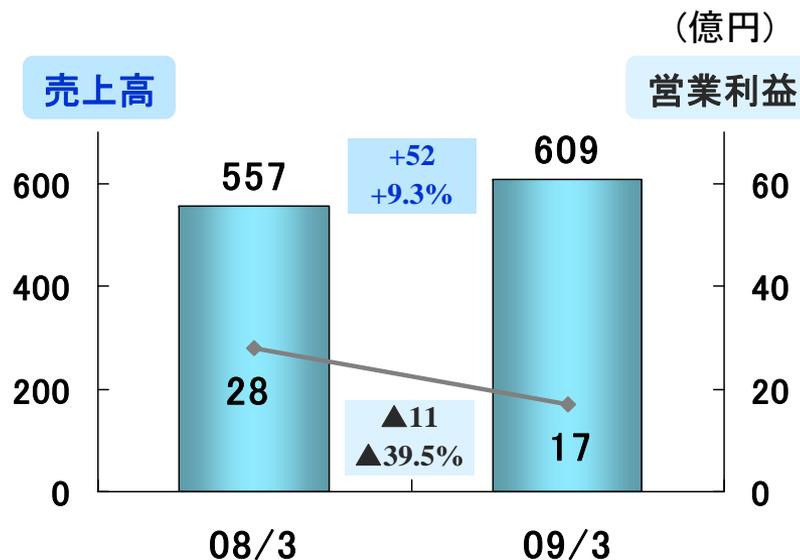
- ・中国での感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」の製造設備増設の竣工、生産開始。(6月)
- ・東光株より半導体事業を譲受け。(1月合意、09年4月1日より事業譲受け。)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

### ・建築資材・住宅資材事業

露出型弾性固定柱脚工法「ベースパック™」が業績を伸ばしたものの、軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」系製品が販売数量を維持しながらも原燃料価格高騰の影響を受けたことから、前期比増収、減益となった。

### ・基礎事業

中小規模建築向けパイル工法「EAZET™」や「ATTコラム™」、低排土・高支持力コンクリートパイル工法「DYNAWING™」などの基礎杭製品が販売数量を伸ばし、前期比増収、増益となった。

### ・断熱材事業

原燃料価格高騰の影響を受けたものの価格改定に努め、前期比で業績は改善した。

## <トピックス>

・小規模建築用地盤改良工法「CSV™」を販売開始。  
(10月)

・鉄骨梁貫通孔補強鋼材「フリードーナツ™」の製品ラインナップを拡大(1月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



# セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	09/3	09/3 組替後*	10/3 予想	09/3	09/3 組替後*	10/3 予想	09/3	09/3 組替後*	10/3 予想
ケミカルズ	457	363	300	367	322		192	146	
ホームズ	70	70	50	34	34		25	25	
ファーマ	316	316	130	103	103		164	164	
せんい	123	124	65	64	72		38	39	
エレクトロニクス	216	318	230	154	198		112	184	
建材	24	24	25	36	36		10	10	
サービス・エンジニアリング等	11	11	10	8	8		1	1	
消去又は全社	51	41	90	28	21		66	39	
合計	1,267	1,267	900	794	794	830	608	608	640

## <参考>

投資有価証券の取得 175 175 130  
(支払ベース、上記設備投資額の外数)

\* 09/3期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

## <08年度完工件名>

- ・(旭化成電子材料(蘇州))  
感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」生産能力増強  
(08/6、1億m<sup>2</sup>/年、中国)
- ・(タイ旭化成スパンデックス)  
「ロイカ™」生産能力増強  
(08/8、タイ)
- ・せんい先端技術センター建設  
(08/9、守山)
- ・(旭化成クラレメディカル)  
新型「APS™」ドライタイプ人工腎臓の紡糸・組立一貫工場新設  
(07/7~08/10、550万本/年、延岡)
- ・第10世代対応大型ペリクル製造ライン新設  
(07/8~08/11、延岡)
- ・排尿障害改善剤ナフトピジル(当社製品名「フリバス™」)の知的財産権等全権利取得  
(08/4~08/12)
- ・(旭化成メディカル)  
ウィルス除去フィルター「プラノバ™」紡糸工場生産能力増強  
(08/4~09/03、40,000m<sup>2</sup>/年、延岡)
- ・LSI製造設備能力増強  
(延岡)

## <08年度末時点 工事中件名>

- ・(旭化成メディカル)  
白血球除去フィルター「セパセル™」生産能力増強  
(08/3~09/5、400万本/年、大分)
- ・(タイ旭化成スパンデックス)  
「ロイカ™」生産能力増強  
(09/7、タイ)
- ・石油残渣物を燃料とするボイラー設備新設  
(07/2~09/8、水島)
- ・「旭化成新総合研究棟」建設  
(07/12~09/8、富士)
- ・食塩電解プロセス用イオン交換膜生産能力増強  
(09年上期中、110,000m<sup>2</sup>/年、川崎)
- ・LSI製造設備能力増強  
(延岡)
- ・「ハイポア™」生産能力増強(守山)、新設(日向)  
(09年度、3,000万m<sup>2</sup>/年、守山)(10年度、1,500万m<sup>2</sup>/年、守山、2,000万m<sup>2</sup>/年×2、日向)

○:投資額30億円以上

## 業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。